

令和6年7月小矢部市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時及び時間 令和6年7月25日（木）
開会 午前11時02分
閉会 午前12時26分
 - 2 出席委員 1番 沼田 勉（教育長） 2番 塚崎 志津江 4番 笹島 康代
5番 石野 昌一
 - 3 説明員 教育委員会事務局長 野澤 正幸
教育総務課長 瀧田 将一郎
文化スポーツ課長 大野 淳也
こども家庭課長 佐伯 真理子
教育センター所長 上田 昌寛
給食センター所長 北川 猛
職務のため会議に出席した職員 教育総務課課長補佐 松田 恵美
教育総務課課長補佐 太田 孝博
教育総務課主事 坂井 洸太
 - 4 議事日程
日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 会議録の承認について
日程第3 教育長の業務について
日程第4 （専決承認）
承認第13号 専決処分事項の承認について
専決第11号 教育委員会事務局職員の任免について
- 報告事項
- 1 令和6年6月小矢部市議会定例会の一般質問について
 - 2 令和5年度学校図書館における貸出冊数について
 - 3 小矢部市全国的大会出場激励金交付要綱の一部改正について
 - 4 令和5年度における暴力行為等の現状と推移について
 - 5 教育支援センターの総合的拠点機能形成に向けた調査研究委託事業の進捗状況について

5 議事の内容

教育長	(開会宣言並びに必要な定足数を満たしていることにより会議の成立を宣言) 日程第1 会議録署名委員について2番塚崎委員を指名いたします。 日程第2 前回の会議録の承認について説明をお願いします。
教育総務課課長補佐	(日程第2 会議録の承認について説明)
教育長	6月定例会の会議録については、ご承認いただいたものとして処理させていただきます。
教育長	次に、日程第3「教育長の業務について」報告させていただきます。 (日程第3 教育長の業務報告及び予定について説明)
教育長	ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。
塚崎委員	公民館訪問で話題になったことや気づかれたことはありましたか。
文化スポーツ課長	施設面での不備改善を要望という形でお聞きしています。また、普段の活動内容についての聞き取りを行い、相互理解を図ったところであります。
教育長	他に無いようですので、それでは、日程第4「議案」に入ります。「承認第13号 専決処分事項の承認について」説明をお願いします。
教育総務課長	(承認第13号専決第11号について説明)
教育長	ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。 無いようですので、承認いただいたものとして処理させていただきます。
教育長	それでは報告事項に移ります。報告事項1「令和6年6月小矢部市議会定例会の一般質問について」説明をお願いします。
事務局長	(報告事項1について説明)
教育長	ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。
塚崎委員	山田議員のふるさと教育に関する質問についてです。具体的な取り組みとして副読本「私たちの郷土小矢部」が挙げられていますが、小学3年の社会科資料集や小学5年の道徳資料集もふるさと教育の資料として大変価値のあるものであるため、副読本だけでなくこれらの資料も保護者の方と一緒に読んでいただいたり、何かの機会に紹介したりしていただきたいと思います。
教育総務課長	また校長会を通じて、ご家庭でも活用いただけるようお伝えしたいと思います。
教育長	他に無いようですので、次に報告事項2「令和5年度学校図書館における貸出冊数について」説明をお願いします。
教育総務課長	(報告事項2について説明)
教育長	ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。
笹島委員	報告いただいた調査結果等について、学校司書同士で情報共有・交換ができる場を設けてほしいと思います。報告いただいた学校司書から聞き取った内容を聞く限

	り、調査結果は学校司書の働きによる影響が大きいと感じるため、学校司書一人だけの頑張りに任せるのではなく、市全体として貸出冊数を増やしていけるような取り組みを充実させてあげたいと思います。
教育総務課長	今ほどいただいたご意見も参考に、今回の調査結果の資料や考察等も情報提供していきたいと思います。
教育センター所長	学校司書の研修会は、各学期に1回、年に計3回行っています。本調査結果を見て学校司書がショックを受けないよう、どの資料を提供するか教育総務課長とも相談しながら、研修会にて情報を提供していきたいと思います。また、市内学校での成功例なども研修会の中で話し合っていきたいと考えています。
石野委員	学校図書館の蔵書数の推移はどうなっているのでしょうか。1年間の廃棄冊数や図書の更新年数などが分かれば教えてください。現代社会の情報の更新速度の速さに図書の更新が対応できているのか、気にかかっております。
教育センター所長	学校司書の研修会の中でも今のご質問と同じ話が話題に上がっております。学校司書も、どの図書を廃棄し、どの図書を購入すればよいか悩んでおります。各学校の学校司書は、国が定めている廃棄基準に基づいて廃棄をしており、まず事実が載っていないものは廃棄しております。その他、学校司書の思いをリストアップし、学校長や学校図書館担当教諭と相談し、廃棄する図書と残す図書を決めているそうです。
教育長	他に無いようですので、次に報告事項3「小矢部市全国的大会出場激励金交付要綱の一部改正について」説明をお願いします。
文化スポーツ課長	(報告事項3について説明)
教育長	ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。
教育長	無いようですので、次に報告事項4「令和5年度における暴力行為等の現状と推移について」説明をお願いします。
教育センター所長	(報告事項4について説明)
教育長	ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。
塚崎委員	小学校の暴力行為件数の42件とあり、加害児童の保護者への報告が41件とありますが、件数が異なる理由は分かりますか。
教育センター所長	おそらく近い時期に起きた同児童生徒の複数回の暴力行為について、まとめて報告したためだと思います。
笹島委員	加害者児童生徒への特別な対応件数のうちの「被害者児童生徒やその保護者に対する謝罪指導」について、教師が保護者へ謝罪指導をする前に謝罪した件数も含まれるのか、件数のカウントの仕方を教えてください。
教育センター所長	教師が指導する前に保護者が自発的に謝罪を行った場合は、件数に含まれていません。初めて加害者児童生徒の保護者に面会した際に、教師から謝罪を促した件数が33件となっております。
笹島委員	被害者児童生徒のケガの様子については、たいしたことなかったというお話です

	が、医療機関に掛かった児童生徒や教師はいらっしゃいましたか。
教育センター所長	医療機関に掛かった方はいらっしゃいませんでした。
塚崎委員	ということは、中学校の加害者生徒への特別な対応件数の「関係機関（警察・児相・病院等）と連携した。」の1件というのはどちらと連携したのでしょうか。
教育センター所長	警察になります。
教育長	いずれにしても、この調査結果の数字のしっかりとした根拠を説明できるようにしていただければと思います。
教育長	他に無いようですので、次に報告事項5「教育支援センターの総合的拠点機能形成に向けた調査研究委託事業の進捗状況について」説明をお願いします。
教育センター所長	（報告事項5について説明）
教育長	ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。
教育長	5月23日の第1回調査研究運営協議会での協議の中で印象に残っているのが、村上先生から「将来教師になりたい大学生や子ども食堂に関わっている方を絡ませられないか」と進言があり、大変ありがたいと思っていました。ですが、当初の計画であった夏休み中の第2回運営協議会が現在の計画ではなくなっており、当初4回計画していた運営協議会が3回に減っております。 今後、どのように大学生を関わらせていくかという点と、そして、研修を受講しないと購入できないWISC-Vについてどう対応するかという点の2点について、教えてください。
教育センター所長	学生のマンパワーを使えないかという話については、まず各学校に学生の受け入れ希望状況についてアンケートを行いました。学校からは様々な回答があり、そのアンケートの集計結果を村上先生にフィードバックし、どのような条件なら学生を受け入れられるかを現在探って調整している状況です。今後、希望する学校から試験的に実施していく予定です。 WISC-Vについては、当初購入する予定としておりました。公認心理師やカウンセラーとの間で調査していただきました結果、WISC-Vを購入するのであれば、東京で数日使い方の研修を行う必要があることが後から分かりました。実際に使用することになる方からは、「きちんと使いこなせるようになるか不安であるため、購入についてはもう少しばらく検討させてほしい」と聞いております。
教育長	ということは、夏休み中の運営協議会の開催はしないということでしょうか。
教育センター所長	8月22日予定の支援会議において、きちんと報告できるものが出来上がってからでないと、運営協議会にて報告する内容がまとまっていないので、延期することになりました。学生の受け入れ時期についても学校等と現在調整中です。
教育長	現在の計画には2月上旬、中旬とありますが、市議会がありますので早めに確定してください。
塚崎委員	不登校児童生徒への支援に関して、支援者が顔の見える関係で方向を同じくして支援をすることが大切と言われるのですが、今後、多くの機関と連携していくことはすごく難しいと思われます。関連して、支援会議のイメージがつかないのですが、こういったものを支援会議と呼んでいるのでしょうか。

教育センター所長	随時支援会議と定期支援会議という2つがあり、随時支援会議では、それぞれペアの支援者が支援の方向性を決めるために話し合う場としております。定期支援会議は支援者が全員集まり、関係各課との情報共有の場としております。
塚崎委員	5月の早くから動いている割には、関係機関との連携が見えてきていないように思えたので、定期支援会議を行う場合には見通しをもって早めに日程調整を行い、会議にてイメージを共有し混乱が生じないようにお願いしたいと思います。
笹島委員	現在の進捗状況を見たところ、今までと変わらず教育支援センターで実施してきたことのように思えます。この調査研究委託事業に取り組んだことの良さはなんなのか考えたときに、1つ目に「関係機関との連携システムの構築」、2つ目に「これまで教育支援センターで実施してきた取組の明確化・文章化」、3つ目に「誰が何を行うかが分かる役割の明確化」と、この3つがこの事業を実施して良かった点だと思いました。 ただ、現状、WISC-Vの購入が検討段階で今後の予算内訳が分からなかったり、計画が押したことによって自己肯定感尺度調査のスパンが短く変容が分かるのかなどの不都合が起きるほど今後の見通しが分からなかったりしています。今後の予算の使い道の見通し、今後の予定の見通しについてももう少し具体的にあればと思いました。 また、成果の出し方に関して、現状だと今までやってきたことと同じでしかなく、今までと違うアウトリーチによって良い成果がでたということが分からないため、本事業の具体的な良さについて示してほしいです。よりアピールしてほしいです。
教育センター所長	予算内訳については、800万円の事業費のうち、およそ8割が支援者への報酬や旅費となります。 また本事業で試験的に行ったこととしては、子どもが初めて支援センターを訪れる前に保護者が事前に施設を見学していただいたことです。子どもも保護者も不安なまま見学するよりも、保護者が施設を理解し子どもに案内できた方が、子どもも心を開きやすかったという例がありました。そのような支援を継続し記録して、成果として上げていこうと思っています。
笹島委員	8割を報酬と旅費で使うのについては、今年度は良いが来年度以降のことを考えると不安になります。長期的なスパンでの見通しも大切かと思います。
教育長	現在の時点で本事業において実施したことは、今までの教育支援センターでも実施していたことです。本事業の利点は、やはり関係機関の委員の方々との連携やアドバイスをもらいながら実施していけることだと思います。ですが、その利点の1つがなくなるということについて違和感を覚えております。成果を報告するためには、少しでも早く動き、実績を積み上げていくことが大切だと思います。
塚崎委員	年間予定について、2月に中間評価とありますが合っていますか。
教育センター所長	申し訳ございません、記載間違いであり中間評価は9月～10月の実施予定です。
塚崎委員	中間評価が早くなるのであれば、なおさら予定の見直しをかけていく必要があります。
教育センター所長	計画は再度しっかり立て直します。
笹島委員	お話を聞いている限り、新たなアウトリーチが今回の大きなポイントだと思います。だとすれば、富山国際大学とのつながりについて、道筋を立てて学校から何を

	言われても「市としてしてみたい」ということを推し進めるべきだと思います。子どもより近い年代である大学生の協力を得て試験的に行う良い機会ですので、今までやってきたことにプラスアルファの部分をもっと推し進めていけば本当に有意義な事業になるかと思っています。1つの学校で成功例があれば、他の学校への広がりも生まれることもあるかと思っています。
教育センター所長	さっそく動いていきたいと思っています。
教育長	事務局からの報告は以上となりますが、その他として何かご意見ご質問はありますか。
教育長	特に無いようですので、本日の日程は全て終了いたしました。 次回は、令和6年8月2日（金）午後3時30分から臨時会を開催予定です。 以上をもって閉会します。

以上、小矢部市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により署名する。

令和 年 月 日

小矢部市教育委員会

教 育 長

署名委員

作 成 者